

採択課題名：国際展開を目指した医療系スタートアップの育成拠点

代表機関名：国立大学法人 筑波大学

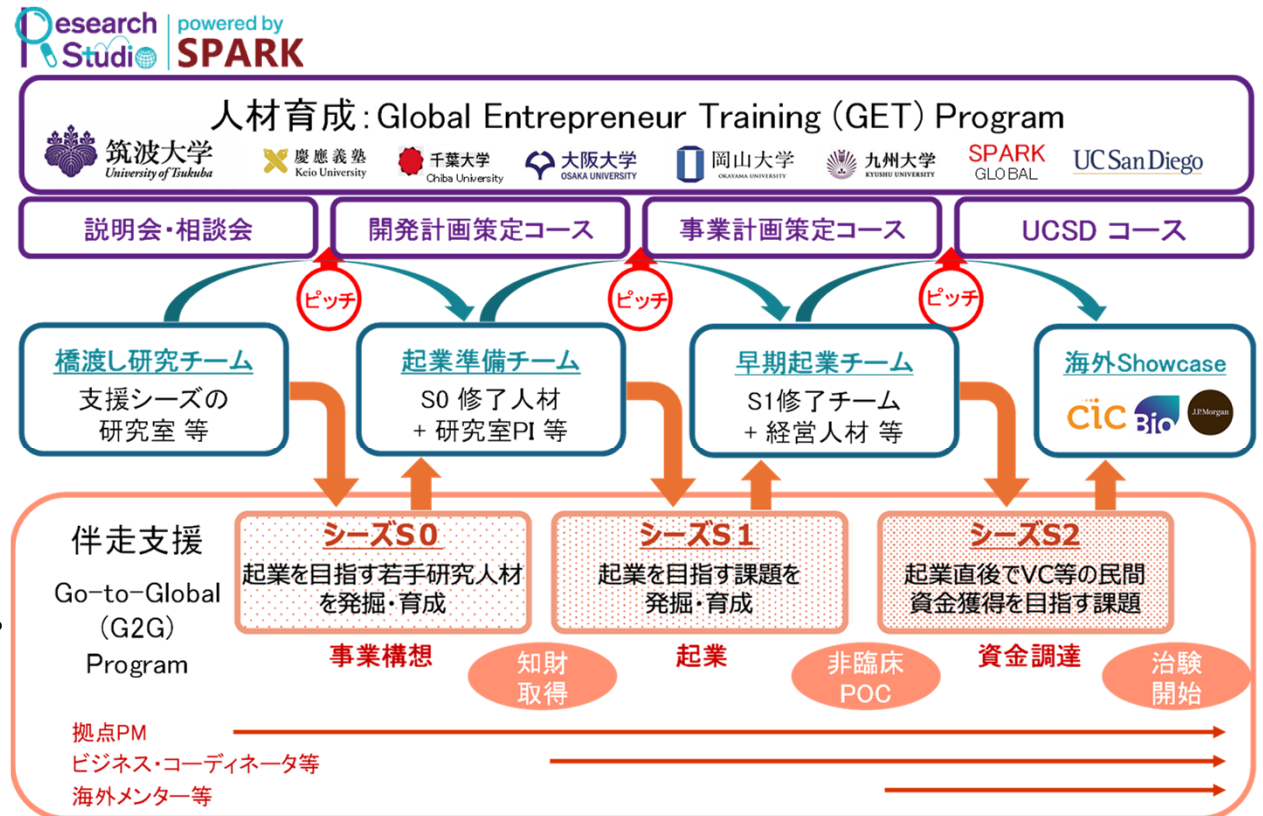
補助事業代表者名：つくば臨床医学研究開発機構 橋渡し研究推進センター
・副機構長・町野 毅

主な連携・協力機関：Stanford SPARK、UCSD、慶應義塾大学、九州大学、大阪大学、岡山大学、千葉大学 他アカデミア9機関、VC5社、その他民間事業者7社

全体概要

筑波大学は医療系スタートアップを育成するプラットフォーム「Research Studio」を構築し、国内外の大学と連携して運営している。過去6年間で39チームを支援し、24社が起業、23社が総額130億円の資金調達に成功。

本事業では、「Research Studio」を基盤とする人材育成プログラムに伴走支援プログラムを連携させ、拠点内外からのシーズを公募して、選抜・育成し、国際展開を目指した社会実装を推進する。国内外の各専門分野のトップリーダー50名以上がメンターとして協力しており、支援人材のFaculty Developmentも連携・協力機関に提供する。VCや事業会社とも連携体制を構築し、事業化を推進する。また、UCSDメンター陣と連携した伴走支援体制を新たに構築し、国際的な医療系スタートアップの支援を推進する。国際展開においては、西海岸での活動実績を活かし、東海岸への展開拡大も検討を進め、米国を中心とした国際展開の拡大を目指す。



橋渡し研究プログラム（大学発医療系スタートアップ支援プログラム） 医療系スタートアップ支援拠点



採択課題名：サイエンスでがん医療の未来を創造する大学発医療系スタートアップ支援拠点

採択拠点

代表機関名：国立研究開発法人国立がん研究センター

補助事業代表者名：橋渡し研究推進センター長/ 先端医療開発センター長・土原一哉



主な連携・協力機関：三井不動産、中小企業基盤整備機構 関東本部、帝人、ジャパンティッシュ・エンジニアリング、
かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク（RINK）、
東京大学エッジキャピタルパートナーズ（UTECH）、Beyond Next Ventures、
JICベンチャー・グロース・インベストメンツ、AN Venture Partners、
ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（LINK-J）、日本貿易振興機構

全体概要

橋渡し研究推進センター（CPOT）を中心に、経営面を支える国内トップクラスのVC、インキュベーションラボなどを運営する事業会社、広報・イベントを支援する団体、製造・品質管理などを受託するCRO/CDMOなどから成る連携プラットフォーム、海外展開を支援する機構、海外での会社設立・ビジネス展開を支援する海外拠点などが連携するスタートアップ支援拠点を構築する。

この拠点の中で、CXO人材を育成する起業家レジデント制度（Entrepreneur In Residence）、アンメットメディカルニーズに基づくシーズ育成（カンパニークリエーション）、グローバルでの資金調達・ビジネス展開を行うための支援機能の構築を行う。

支援シーズの選定・ステージゲート評価では、製薬企業経験者やVC等によるバックキャスト型の評価を取り入れるとともに、トップレベルの臨床研究者・基礎研究者によるアンメットメディカルニーズを解決するためのサイエンスの視点からの評価も重要視する。

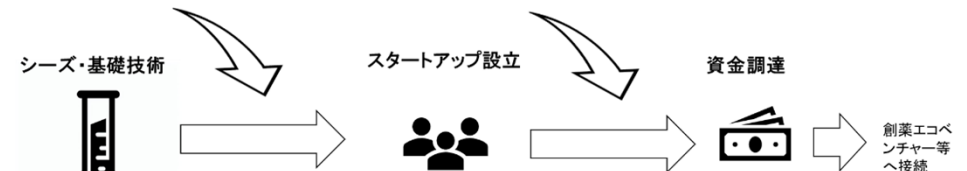
支援シーズ・伴走するPMを支援するために各ステークホルダーが意見交換を行うアドバイザリーボードを組織し、質の高い伴走支援を実現する。

これらの取組により、医療系スタートアップエコシステムを強化し、基礎研究→スタートアップ→実用化→再投資の好循環を生み出し、我が国の創薬力を強化する。
また、代表機関の特色（がん領域のハイボリュームセンター）を生かし、がん関連領域に特化する代わりに全国のスタートアップを広く支援可能な体制を構築する。

本事業で構築するSU支援拠点のイメージ

○アンメットメディカルニーズに基づくスタートアップ創出
日本型カンパニークリエーションモデル構築（S0枠）

○グローバル市場での起業・資金調達・上市を
可能とする支援体制構築（S0～S2枠）



○起業家レジデント制度によるサイエンスバックグラウンドを持つCXO人材育成（S0枠）

その他：（S0～S2枠）
○伴走支援および各種専門人材メンターネットワーク（海外人材を含む）
○支援機関ネットワーク（国内・海外）
○教育プログラム（国内・海外）
○発掘・選定・ステージゲート評価体制の構築

橋渡し研究プログラム（大学発医療系スタートアップ支援プログラム） 医療系スタートアップ支援拠点



採択課題名：慶應義塾スタートアップ推進拠点 (Keio Biomedical Accelerator) 構築による
革新的医療シーズの早期社会実装と、大学発スタートアップ・エコシステムの創成

代表機関名：学校法人慶應義塾

補助事業代表者名：慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター・センター長・長谷川奉延

主な連携・協力機関*：首都圏ARコンソーシアム (MARC)、Stanford University、筑波大学、AN Ventures、慶應イノベーション・イニシアティブ、Saisei Ventures、大鵬イノベーションズ、三菱UFJキャピタル、MedVenture Partners、iCONM in collaboration with BioLabs/川崎市産業振興財団、かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク (RINK)、SakuLab/アステラス製薬、さつきアドバイザー、湘南ヘルスイノベーションパーク、Triple Bridge Acceleration Program (TBAP)、三井不動産、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

*アカデミア、VC、その他民間事業者等の順にそれぞれ五十音順で記載

採択拠点

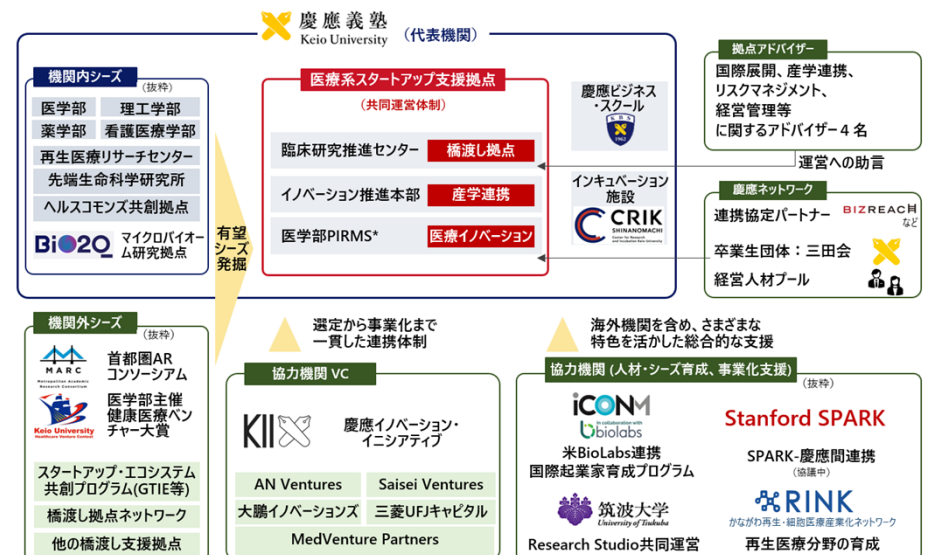


全体概要

橋渡し拠点である臨床研究推進センターと、産学連携部門であるイノベーション推進本部、そして医療イノベーションを担う医学部が共同することにより、医療系スタートアップ支援拠点を構築する。機関内では、慶應ビジネススクールとの連携や、大学病院内に位置するインキュベーション施設であるCRIK信濃町等を活用し、人材・シーズの育成体制を充実させる。機関外とは、慶應イノベーション・イニシアティブ (KII) を含む、早期段階医療系シーズに注力するVCとの協力体制を特色とする。人材・シーズ育成のため、米国BioLabsやStanford大学等を含む実績ある国内外機関と連携することで、国際展開も見据えた支援体制を構築していく。

研究開発課題については、機関内だけでなく、首都圏ARコンソーシアム (MARC:連携機関16施設、連携協力機関8施設)、学外にも開放している健康医療ベンチャー大賞、産学連携部門が連携するGTIE等に加え、橋渡し拠点が構築した国内ネットワークや他の橋渡し拠点との連携を活用しながら、若手人材への支援を含めて、幅広く開発、事業化支援を行っていく。

これらにより、世界に伍する革新的な医薬品・医療機器・再生医療等製品等の事業化を志す大学発スタートアップの継続的な創出を実現していく。



* PIRMS: 医科学研究連携推進センター (Center for the Promotion of Interdisciplinary Research in Medicine and Life Science)

橋渡し研究プログラム（大学発医療系スタートアップ支援プログラム） 医療系スタートアップ支援拠点



採択課題名：総合知を新医療へ、九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステムの構築

採択拠点

代表機関名：国立大学法人九州大学

補助事業代表者名：生命科学革新実現化拠点・拠点長・赤司 浩一

分担機関名：国立大学法人長崎大学



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

主な連携・協力機関：筑波大学、国立国際医療研究センター、WAT-NeW 連携大学†アカデミア全26機関、VC等23社、自治体等4団体

全体概要

† <https://wat-new.org/working>

九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステムQUICK (Quantum University Innovation Cycle from Kyushu)を立ち上げ、世界に向けた多重圏の医療系スタートアップ事業を強かに推し進める。

九州大学拠点は、これまで西日本の主要な26大学が加盟するWest Japan Academia Translational Research Network (WAT-NeW)を構築してシーズを発掘し、病院 ARO次世代医療センターと一体となって実用化を幅広く支援してきた。本事業では、九州大学アジア・オセアニア教育研究機構(QAOS)および国際医療部等を通じたアジアの医療系アカデミアとの連携を深化し、出口の臨床試験を含む海外展開を強化する。

加えて、国を越えた規模で解決すべき社会課題として感染症に注目し、長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科、長崎大学病院を分担機関、国立国際医療研究センターを協力機関として感染症シーズ開発についても充実させる。

実用化に向けたビジネス面の支援では、JST事業PARKSで構築した400人以上の事業化推進人材/CxO人材プールによる人材供給と、強力なベンチャーキャピタルネットワークを活用して、強固なスタートアップ支援を実現する。

九州大学ロバートファンアントレプレナーシップセンター(QREC)を中心に、筑波大学Research Studioと相互協力し、Translational Science & Medicine Training Program (TSMTP)などの医療系スタートアップに必要な実践的教育を拠点内外に提供する。

